

# 纏 新 聞

matohu2019S/S

## 「小さき衣」

matohuは2018年10月16日、表参道ヒルズ本館スペースオーにて2019S/Sコレクションを発表した。ランウェイ方式ではなく、プレゼンテーション、展示方式での発表となった。



プレゼンテーションにも使われた3人のモデル

今回のコレクションのテーマは「手のひらの旅」で、扱ったモチーフは津軽の「こぎん刺し」だ。かつて庶民が一生のうち数えるほどしか着物を持たなかったほど高価であった衣服を長く着続けるために、人々は布に糸を刺す工夫がされてた。その工夫の中でなぜか津軽において生まれた独特の美しい柄が「こぎん刺し」だ。

プレゼンテーションの際、デザイナーである堀畑裕之氏、

関口真希子氏は「今までのコレクションは日本の美意識から現代への応用を表現してきたが、今回は、今までこだわった美意識をもっと軽やかに、自由に表現した。」と話した。

また、今後の展開については「手のひらの旅を海外にも発信したい、その際自分たちも海外へ赴き、そこから生まれるビジネスを自分たちなりに模索したい。」と話した。今後の展開も楽しみだ。(遠藤咲良)

### 〈コラム〉

会場に入ると、来場者の手にはシャンパングラスがあった。私たちは東コレ取材会のメンバーには用意されてなかったため(当たり前)、いいなあと思っていた。後で聞くと、配られたのはシールドルで、津軽のリンゴ農家で酒造メーカーのタムラファームのものらしい。大人になったら是非飲んでみたい。(遠藤咲良)